

## 用語解説

### IC カードシステム

乗車賃の支払いを現金等でなく IC (Integrated circuit 高度集積回路) カードとするシステム。支払・下車に時間がかからないので、運行をスムーズにすることができる。

### GPS (Global Positioning System)

人工衛星と車両等の電波の受発信を利用して、車両等の位置を特定するシステム。停留所の表示で、次の便が来るまでの所要時間を知ることができる。

### パーク&ライド

駅・停留所に、公共交通機関利用者専用のための駐車場を設け、自宅等から駅(停留所)までは自家用車を利用し、駅(停留所)からは交通機関を利用するシステム。公共交通機関の利用性を増すとともに、自動車交通の全体量と中心市街地への流入を削減することができる。

### サイクル&ライド

駅・停留所に駐輪場を設け、公共交通機関利用を促進するシステム。

### L R T

Light Rail Transit の略。わが国ではふつう「次世代路面電車」と訳される。正確には、車両を示す言葉は「LRV=Light Rail Vehicle」であり、LRTとはLRVを用いたシステムを示す。但し、日本ではLRTという言葉が、車両、システムの双方を示す概念として一般に使用されている。

LRT(車両)の典型は、岡山電気軌道の「MOMO」である。特質はその高性能にあり、加速減速性、登坂性能などの点で従来型の軌道車両(路面電車)を大きく上回っている。JRのローカル線に現在就役しているディーゼル車両と比べて、車両1両あたりの乗客容量は少ないが、性能面では大きく勝る。

「LRT化」という言葉で意味する内容は、車両とシステムの両方の意味を含む。つまり、車両をLRTにするだけでは不十分で、駅の増設、駅の駐車・駐輪施設の増強、フィーダーバス路線との連絡性など、交通システムとしての機能強化を含む。

関連用語「トランジットモール」は、「公共交通手段と歩行者だけが入れる道路空間」を指す。歩行者天国+電車・バス、と考えるとわかりやすい。トランジットモールは、ヨーロッパの諸都市でLRTの導入と併せて採用され、乗客数の増大と都心の活性化に大きく寄与した、と評価されている。

### フィーダーバス路線

鉄道等に、その乗客を「供給」(Feed)するバス路線。例えば、鉄道X線の途中駅A駅とその近郊を往復して、A駅にX線利用客を運ぶバス路線など。